

## 平成30年度議会活動計画実施状況

(平成31年3月14日現在)

活動計画	実施状況
<p>【取組内容】</p> <p>(1) 知事等との関係～監視・評価・政策立案・政策提言～</p> <p>①総合計画 「みえ県民カビジョン」及び「みえ県民カビジョン・行動計画」の策定並びに同行動計画の「成果レポート」の作成に合わせ、調査・審査を行い、知事への申し入れを行います。</p>	<p>【取組内容】</p> <p>(1) 知事等との関係～監視・評価・政策立案・政策提言～</p> <p>①総合計画 平成30年版「成果レポート」については、予算決算常任委員会及び行政部門別常任委員会で調査を行い、8月9日に知事へ申し入れを行いました。 この申し入れについては、「さらなる安全・安心の確保」などについて平成31年度当初予算編成に反映されました。</p>
<p>②当初予算 「当初予算」については、毎年度、予算決算常任委員会を中心に調査・審査を行います。</p>	<p>②当初予算 当初予算については、予算総括質疑を行うなど、予算決算常任委員会を中心に審議を行っています。</p>
<p>③個別の行政計画 個別の行政計画については、改訂時期を見据え、基本的には所管の常任委員会で調査・審査を行います。</p>	<p>③個別の行政計画 議決対象計画をはじめ、県政に重要な個別の行政計画について、調査・審査を行っています。 ※議決対象計画 「第4次三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進計画」 「三重の森林づくり基本計画」</p>
<p>④特に調査・検討を要する重要課題 県政の重要課題で、特に調査・検討を行うべき事項については、必要に応じて、特別委員会や附属機関、調査機関、検討会等を設置し、政策提言や政策立案を行います。</p>	<p>④特に調査・検討を要する重要課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年5月18日に設置した「障がい者差別解消条例策定調査特別委員会」が、約1年間の検討を経て取りまとめた条例案を、平成30年6月29日の本会議において、全会一致で可決しました。</li> <li>・「大規模な災害等緊急事態への県議会の対応に関する検討会」を平成30年6月29日に設置し、先行する議会の取組や東日本大震災を経験した県議会への調査、有識者の意見聴取などを踏まえた検討を行い、議会として必要となる対応等の基本的な考え方、行動指針となる「大規模な災害その他緊急事態への対応に関する三重県議会指針」の策定などについて、取りまとめました。</li> </ul> <p>この取りまとめ結果は、平成31年3月13日の全員協議会で報告され、緊急事態発生時の災害対応組織として、現行の代表者会議に代わる「三重県議会災害対策会議（仮称）」を新たに設置することや、緊急事態に迅速に対応するための議案審議の簡素化とともに、その簡素化により議決を行った工事の請負契約の2割までの変更契約を知事の専決処分とすることなどが、議会運営委員会などで検討されることとなりました。</p>

活動計画	実施状況
<p>⑤重点調査項目 6月に策定する年間活動計画において委員会ごとの重点調査項目を定め調査・審査を行います。</p>	<p>⑤重点調査項目 各常任委員会が作成する年間活動計画の中で定めた重点調査項目に基づいて、県内外調査（予算決算常任委員会を除く）を実施するなど、年間を通じて重点調査項目の調査・審査を行っています。</p>
<p>⑥議員勉強会 議員の政策形成能力の向上を図るため、全議員を対象とする勉強会を開催します。</p>	<p>⑥議員勉強会 第1回 平成30年10月15日 テーマ：「これからの議会改革に問われるもの」 廣瀬 克哉 氏（法政大学副学長） 第2回 平成30年12月20日 テーマ：「災害時における議会・議員の役割と取組」 鍵屋 一 氏（跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 コミュニティデザイン学科 教授）</p>
<p>（2）県民との関係～広聴広報～ ①議長定例記者会見 議会に係る情報発信を行うため、議長定例記者会見を月1回実施します。</p>	<p>（2）県民との関係～広聴広報～ ①議長定例記者会見 三重県議会の活動10大ニュースなどを発表しました。 平成30年度開催実績：11回（就任記者会見を除く）</p>
<p>②広聴広報会議 効果的な広聴広報の取組について協議・調整するため、広聴広報会議を月1回程度開催します。</p>	<p>②広聴広報会議 「議会広聴広報計画」の策定、「みえ県議会だより」の編集、「みえ県議会新聞」の編集、「みえ現場 de 県議会」の開催、「みえ県議会出前講座」の実施、「みえ高校生県議会」の開催、「傍聴者アンケート」の対応などについて、協議しました。 また、「みえ県議会出前講座」実施要領を、主権者教育、キャリア教育の視点等も盛り込んで改正したほか、三重県議会 Facebook ページを平成31年3月に開設し、同年4月から運用することを決定しました。 平成30年度開催実績：14回</p>

活動計画	実施状況
<p>ア みえ現場 de 県議会 多様な県民の意見を取り入れる広聴機能を強化し、議会での議論に生かしていくため、県政の重要課題等を設定して、関係団体や県民に広く参加を呼びかける「みえ現場 de 県議会」を開催します。</p>	<p>ア みえ現場 de 県議会 平成30年11月19日 テーマ：「ダイバーシティ社会の推進」（亀山市） 【県民6人（うち公募3人）、議員16人】</p>
<p>イ みえ高校生県議会 高校生の議会に対する関心を高めるとともに、高校生の意見を議会での議論に反映していくため、「みえ高校生県議会」を開催します。</p>	<p>イ みえ高校生県議会 高校生に議会活動を体験してもらうことで議会に対する関心を高めるとともに、高校生の意見を直接聴くことで議会での議論に反映していくことを目的に、次のとおり開催しました。また、インターネットでの生中継には手話通訳を挿入し、配信しました。 平成30年8月21日【高校生40人（11校）、議員14人、知事、教育長（代理）、環境生活部長】</p>
<p>ウ みえ県議会出前講座 学校からの申込みを受けて、児童、生徒、学生に対して、三重県議会の仕組み等を学校に出向いて説明し、質疑応答を行う「みえ県議会出前講座」を実施します。</p>	<p>ウ みえ県議会出前講座 学校からの申し込みを受けて、9月26日から2月19日の間に、計8校968人の児童生徒に対して、実施しました。実施後のアンケートでは、「とてもよかった・よかった」が83%と肯定的な結果でした。</p>
<p>【委員会活動の振り返り】 議会活動の中心的な役割を果たす各常任委員会において、委員会活動が「監視・評価・政策立案・政策提言」の充実に寄与できたかという観点から、委員会（予算決算常任委員会の場合は理事会）による自己評価を毎年行います。</p>	<p>【委員会活動の振り返り】 2月定例会月会議の際に、委員会活動の自己評価を行いました。 （別紙「委員会活動評価総括表」のとおり）</p>



予算決算常任委員会活動評価総括表

- 1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）
- ・県外調査を実施できなかったが、概ね活動フロア通りに進めることができた。
  - ・委員会では様々な案件があったが、その都度、正副委員長の適切な判断によって円滑に運営された。
  - ・委員間討議の充実が課題である。各分科会で十分に委員間討議を実施するように理事会から促してもよいのではないか。
  - ・昨年度の県外調査の内容が今年度の検討会で活かされたことから、県外調査の成果は単年度に限らず、次年度以降に引き継ぐことも必要だと感じた。

2 各委員（理事）の評点の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	<p>年間活動計画の内容は適切なものでしたか。</p> <p>重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。</p> <p>年間活動計画に沿って委員会活動をしましたか。</p> <p>（その他、評価の理由等（自由記載））</p> <p>・県外調査ができなかった。</p>	3.5
(2)委員会運営の円滑度	<p>すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。</p> <p>委員会で十分な議論をしましたか。</p> <p>委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。</p> <p>（その他、評価の理由等（自由記載））</p> <p>・委員長が各委員の意見をしっかりと調整しまとめていただいた。</p>	3.9
(3)委員間討議の充実度	<p>委員間討議の機会を十分に活用しましたか。</p> <p>議員間討議を十分に行いましたか。</p> <p>議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。</p> <p>（その他、評価の理由等（自由記載））</p>	2.9
(4)県内外調査の充実度	<p>県内外調査の調査先は適切でしたか。</p> <p>調査先で十分な調査を実施しましたか。</p> <p>県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>（その他、評価の理由等（自由記載））</p>	-

項目	評価の視点	平均点
(5) 県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度	<p>「参考人招致」や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「請願」、「議員勉強会」、「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>(評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。)</p> <p>調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出条例の検討を行ったなど)について記載してください。</p>	3.0
(6) 調査・審査結果の施策への反映		

※評価は5点満点です。(5点…大変良くできた、4点…良くできた、3点…概ねできた、2点…あまりできなかった、1点…できなかつた)  
 ※各項目の自由記載欄については、各委員個人の意見を掲載しております。

総務地域連携常任委員会活動評価評価総括表

- 1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）
- ・ 県内調査は重点調査項目に沿って実施することができた。
  - ・ 県外調査は台風の影響やその後の日程調整の結果、実施できなかったが、何らかの代わりの形が必要だったのではないかと感じた。
  - ・ 委員会での議論をより活発にするためには、参考人招致等、外部の意見を取り入れる工夫も必要である。

2 各委員（理事）の評定の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。 重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。 年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))	3.9
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。 委員会で十分な議論をしましたか。 委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))	3.9
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。 議員間討議を十分に行いましたか。 議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) ・ 知事提出議案に対する議員間討議が低調だった。 ・ 議提議案についての活発な議論はあった。	3.1
(4)県内外調査の充実度	県内外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))	3.8

項目	評価の視点	平均点
(5) 県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度	<p>「参考人招致」や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「請願」、「議員勉強会」、「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>(評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。)</p> <p>・参考人招致、公聴会などの活用が不十分</p>	2.9
(6) 調査・審査結果の施策への反映	<p>調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出条例の検討を行ったなど)について記載してください。</p>	

※評価は5点満点です。(5点・・・大変良くできた、4点・・・良くできた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかつた)  
 ※各項目の自由記載欄については、各委員個人の意見を掲載しております。

戦略企画雇用経済常任委員会活動評価総括表

1 委員会活動の振り返り (委員間討議の結果の概要を記載する)

- ・重点調査項目が幅広いため、もう少し絞ってもよかった。
- ・産業振興戦略の見直しの議論中で、「地域課題の解決」が大きな柱として入ったことは大きな成果だと感じている。
- ・常任委員会の委員任期が1年では難しいテーマもあるため、2年任期にしてもよいのではと思う。
- ・専門家の招致も考えたいが、日程の都合もありできなかつた。積極的な専門家の招致も必要だと思う。
- ・委員間討議が十分にできなかつた。もう少し深めていければよかったと思う。
- ・実際に現場へ行つて議論する機会をつくるべきと感じる。
- ・他県議会では、映像資料も活用している。現実の姿を紙の資料だけでなく動画で見るとまた違ったものになると思う。ICTの活用を議会でも行っていければよいと思う。

2 各委員 (理事) の評価の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。 重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。 年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) [ ]	3.3
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。 委員会で十分な議論をしましたか。 委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) [ ]	3.8
(3)委員間討議の充実度	委員間討議の機会を十分に活用しましたか。 委員間討議を十分に行いましたか。 委員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) [ ]	3.6

項目	評価の視点	平均点
(4)県内外調査の充実度	<p>県内外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内外調査における内容その後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県外調査ができずに不十分ではあった。</li> <li>・県内調査は、現場感がありました。</li> </ul>	3.3
(5)県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度	<p>「参考人招致」や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「請願」、「議員勉強会」、「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生県議会の中で議論された内容について、執行部に対し質疑し回答が得られた。</li> </ul>	2.8
(6)調査・審査結果の施策への反映	<p>調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出条例の検討を行ったなど)について記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会での議論を基に、成果レポートの「取組方向」の記載に反映された。</li> <li>・データー放送の慎重な検討を要望した。</li> </ul>	

※評価は5点満点です。(5点・・・大変良くできた、4点・・・良くできた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかつた)  
 ※各項目の自由記載欄については、各委員個人の意見を掲載しております。

環境生活農林水産常任委員会活動評価総括表

1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）

- ・年間活動計画に沿った委員会活動が実施できた。
- ・委員会運営についての議案、調査事項などの議論を活発に行うことができた。
- ・委員間討議について活発に意見を伺うことができた。
- ・県内外調査における水福連携の取組や循環型農業を実践する取組についての調査はとても有意義だった。
- ・重点調査項目等についての参考人招致を実施できればよかった。

2 各委員（理事）の評点の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。 重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。 年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))	3.9
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。 委員会で十分な議論をしましたか。 委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))	3.9
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。 議員間討議を十分に行いましたか。 議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))	3.1
(4)県内外調査の充実度	県内外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) ・水福連携等充実した調査だった。	4.5
(5)県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度	「参考人招致」や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「請願」、「議員勉強会」、「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。)	3.1

項目	評価の視点 調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出条例の検討を行ったなど)について記載してください。	平均点
(6)調査・審査結果の施策への反映	[ ]	

※評価は5点満点です。(5点…大変良くできた、4点…良くできた、3点…概ねできた、2点…あまりできなかつた、1点…できなかつた)  
 ※各項目の自由記載欄については、各委員個人の意見を掲載しております。

医療保健子ども福祉病院常任委員会活動評価総括表

1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）

- ・今後の大きな課題である認知症対策について、認知症にならないという予防の観点から県内調査ができてよかった。
- ・経過報告を求める委員長報告を行い、執行部から回答を得ることができた。委員会が権限をうまく行使することにより、施策が進むこともあったため、今後大いに活用していくべきである。
- ・それぞれの立場で請願、意見書等について活発に討議ができてよかった。

2 各委員（理事）の評定の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。 重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。 年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))	3.7
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。 委員会です十分な議論をしましたか。 委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) 〔 ・委員長報告は、協議内容で合意したことを適切にしていた。〕	4.0
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。 議員間討議を十分に行いましたか。 議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))	3.3
(4)県内外調査の充実度	県内外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) 〔 ・調査先の選定は大変よかった。 ・充実した調査内容でした。〕	4.0
(5)県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度	「参考人招致」や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「請願」、「議員勉強会」、「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。)	3.3

項目	評価の視点 調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出条例の検討を行ったなど)について記載してください。	平均点
(6)調査・審査結果の施策への反映	<p>・経過報告を求めたことは、有意義だった。これからもっと利用できればと思う。</p> <p>・委員が長年提言してきたことが、施策として立ち上がったことがよかった。</p>	

※評価は5点満点です。(5点・・・大変良くできた、4点・・・良くできた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかった)  
 ※各項目の自由記載欄については、各委員個人の意見を掲載しております。

## 防災県土整備企業常任委員会活動評価総括表

### 1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）

- ・ 県外調査では十分な調査ができたと同時に委員の防災意識もより一層高まった。また、参考人招致を実施するなど1年を通して効果の高い調査を実施することができた。
- ・ 参考人招致では、建設産業に関わる様々な立場の方の意見を聴くことができ有意義であった。執行部にもその意見を伝えることができたが、今年度の委員会では、建設産業へ施策へ反映できなかつた点については、今後の委員会でも注視していく必要がある。
- ・ 県民の関心の高い防災・減災対策について、委員会でも十分に議論し、来年度予算に反映できたことはよかつた。
- ・ 委員長報告に対して執行部が的確に対応したことは、委員会としての確かな提案ができた成果であると思う。
- ・ 本委員会のみでは議論が不十分な課題については、全員協議会等ふさわしい場での議論も必要であると感じた。

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。	4.3
	重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。	
(2)委員会運営の円滑度	年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。	4.3
	（その他、評価の理由等（自由記載））	
(3)委員間討議の充実度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。	3.0
	委員会です十分な議論をしましたか。	
(4)県内外調査の充実度	委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。	4.1
	（その他、評価の理由等（自由記載））	

項目	評価の視点	平均点
(5) 県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度	<p>「参考人招致」や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「請願」、「議員勉強会」、「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>(評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参考人招致が大変有意義であった。</li> <li>・普段意見を聴くことの少ない方を参考人として招き有意義な情報を得ることができた。</li> </ul> <p>調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出案例の検討を行ったなど)について記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長報告や委員会での指摘が比較的県政に反映されたと思われる。</li> <li>・本委員会のみでは議論が不十分な課題(具体的には特定建築物等における法定点検の実施状況)については、全員協議会で障がい者雇用率算定誤りと併せて議論するべきだった。</li> </ul>	4.1
(6) 調査・審査結果の施策への反映		

※評価は5点満点です。(5点…大変良くできた、4点…良くできた、3点…概ねできた、2点…あまりできなかった、1点…できなかつた)  
 ※各項目の自由記載欄については、各委員個人の意見を掲載しております。

## 教育警察常任委員会活動評価総括表

- 1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）
- ・インターハイが好成績で終了したことのほか、三重県犯罪被害者等支援条例の制定に向け当委員会としても関与することができ有意義であった。
  - ・委員会における委員の発言が県の予算や施策にどのように反映されたのか検証できるように、委員会の在り方等についても検討を行ってはどうか。
  - ・県外調査については中止とせざるを得なかったが、県内調査は現場の状況を実際に調査することができ、大変充実した内容であった。
  - ・県内外調査については、台風等による日程変更に対応できるように予備日を設定するなど日程設定に柔軟性を持たせる必要がある。

### 2 各委員（理事）の評定の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	<p>年間活動計画の内容は適切なものでしたか。</p> <p>重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。</p> <p>年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。</p> <p>（その他、評価の理由等（自由記載））</p> <p>[ ]</p>	4.0
(2)委員会運営の円滑度	<p>すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。</p> <p>委員会で十分な議論をしましたか。</p> <p>委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。</p> <p>（その他、評価の理由等（自由記載））</p> <p>[ ]</p>	4.0
(3)委員間討議の充実度	<p>議員間討議の機会を十分に活用しましたか。</p> <p>議員間討議を十分に行いましたか。</p> <p>議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。</p> <p>（その他、評価の理由等（自由記載））</p> <p>[ ]</p> <p>・委員長からのアドバイスが求められる。</p>	3.6
(4)県内外調査の充実度	<p>県内外調査の調査先は適切でしたか。</p> <p>調査先で十分な調査を実施しましたか。</p> <p>県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>（その他、評価の理由等（自由記載））</p> <p>[ ]</p> <p>・県外調査が天候のためできなかったが、県内調査は充実。</p> <p>・県内調査はよかった。</p> <p>・台風のため、県外調査が実施できなかったが、スケジュールの調整が求められる。</p>	3.9

項目	評価の視点	平均点
(5) 県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度	<p>「参考人招致」や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「請願」、「議員勉強会」、「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>(評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。)</p> <p>調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出条例の検討を行ったなど)について記載してください。</p> <p>・交通安全施設整備予算の拡充がはかられた。</p>	3.6
(6) 調査・審査結果の施策への反映		

※評価は5点満点です。(5点・・・大変良くできた、4点・・・良くできた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかつた)  
 ※各項目の自由記載欄については、各委員個人の意見を掲載しております。